

# 平成28年度税制改正要望事項

「確定給付企業年金の弾力的な運営等に係る税制上の所要の措置」

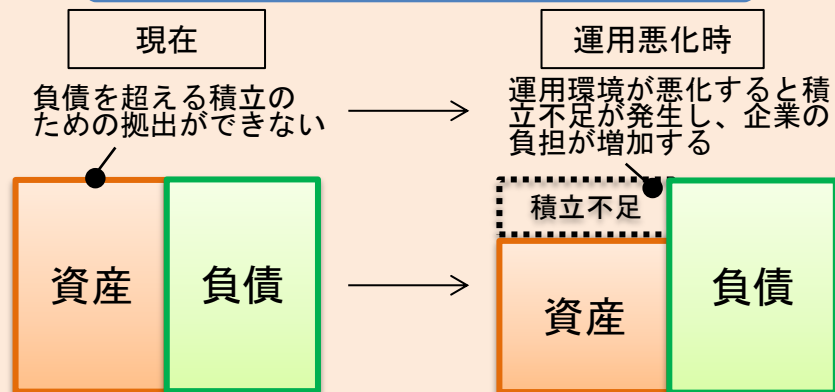
## 1. 現状

現行の確定給付企業年金制度（DB）では、掛金の拠出について負債を超える拠出が認められていない。このため、結果として、景気が悪化し企業業績が悪いときに掛金の追加拠出が求められることになり、企業活動に影響が出るほか、加入者の給付減額などの対応を要する可能性がある。

### DBの仕組み(イメージ)



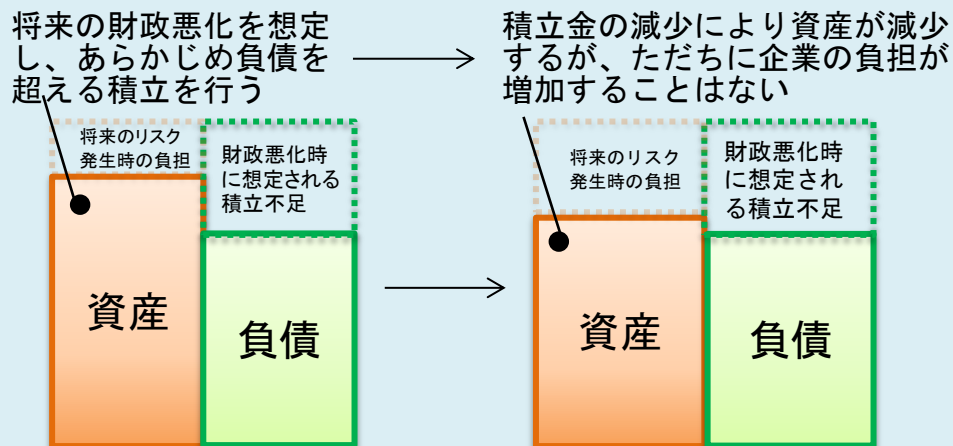
### 現行のDBの拠出の仕組み(イメージ)



## 2. 要望内容

DBについて、安定的な財政運営ができる環境の整備や、**運用リスクを事業主と加入者で柔軟に分け合う仕組み（いわゆるハイブリッド型制度）を実施可能とするため、将来の財政悪化を想定した計画的な掛金拠出の仕組みを導入すること等に伴い、税制上の所要の措置を講ずる。**

### DBの弾力的な拠出の仕組み(イメージ)



※「日本再興戦略」改訂2015（平成27年6月30日閣議決定）において、ハイブリッド型の企業年金制度の導入や、将来の景気変動を見越したより弾力的な運営を可能とする措置について検討することとされている。